



志布志市立原田小学校 学校だより 令和6年度1月号

原田の風 令和7年1月30日発行



ホーム  
ページ  
更新中

## 「三匹の子ぶた」

校長 伊藤 啓博

先日（1月26日〔日〕）の南日本新聞の一面に「広域降灰に『警報』検討 気象庁 大規模噴火備え」との記事が掲載されていました。【～気象庁は2008年に降灰予報を開始。広範囲の降灰が予想される噴火が発生した際、6時間先までの降灰範囲を示した。～中略～ただ現在の降灰予報は降灰量を「1㎍以上(多量)」「0.1㎍以上1㎍未満(やや多量)」「0.1㎍未満(少量)」に区分して防災対応などを示しており、大規模噴火を想定した情報体系にはなっていない。～中略～新たな降灰予報情報は全国の火山が対象で、降灰量の区分は内閣府の検討会が示す「30㎍以上」「3㎍以上」「微量以上」を参考にすると、さらに、【大正噴火級の排出量を想定したシミュレーションでは、偏西風の弱まる夏場に(鹿児島市の)市街地で最大1㎍程度の降灰が予想される。】とありました。偏西風の弱まる夏場じゃなかったら…風向きによっては…どうなるのでしょうか。日本の活火山数は111あるそうです。この中には、桜島はもちろん、阿蘇山や霧島山、富士山も含まれます。

災害はいつ起こるか予測できず、突然発生することがあります。地震や津波、台風、竜巻など、様々な災害が考えられます。昨年8月には、日向灘を震源とするマグニチュード7.1(最大震度6弱)の地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されたことは記憶に新しいと思います。今年(2025年)に入っても、1月13日には、志布志市で震度5弱の大きな揺れがありました。子供たちは、「こわくて泣いたんだよ。」「家族みんなでテレビとか支えたんだよ。」「寝てて気付かなかった。」と様々。気になったので調べてみたところ、日向灘を震源とする地震(震度1～5弱)は、今年に入って、19回(1月27日現在)ありました。全国では198回も起きていました。災害は、いつどこで起きるか分かりません。やはり備えは大切です。「命を守るための行動を」よく報道で聞こえてくる言葉です。そのための準備は怠らないようにしたいと思います。災害が、今住んでいる近辺で起こらなかったとしても、その規模によっては、電気や水道、交通手段や流通、通信手段等、社会インフラにも支障が生じることも考えられます。

学校では、地震、火事、津波等を想定した避難訓練を実施していますが、今後も危機意識を持ち、万が一に備えた訓練ができるよう取り組んでいきたいと思っています。ご家庭でも、もし…を仮定して、万が一の時の行動を話題にされてみてください。家族でのその会話が、子供たちにとってのまさに「備え」になります。

「三匹の子ぶた」のお話を思い出しました。「備えあれば憂いなし」です。災害時に落ち着いて行動できるよう、意識を高め、備蓄も含め、「命を守るため」備えていきましょう。

## みんなで前向きに生活しよう！～全校児童SST授業～

1月11日(土)

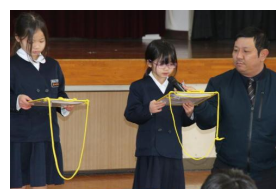
今年度最後の全校児童SST。今回は相手の気持ちを考えるスキルを身に付けるために「友達と一緒に、前向きに生活を送るスキル」について学びました。

友達に対して思いやりのある本校児童ですが、時に少しのことでカッとなったり、人に当たってしまったりすることも。そんな友達に上手に助言したり、適切な態度で向き合ったりできるようになることが今回のねらいです。

全体で「体でじゃんけん」のアイスブレイクを行い緊張をほぐした後は、低学年、中学年、高学年に分かれ、それぞれの段階に合った内容でスキル学びへ。モデリングでは、さまざまな場面を想定し、教師が演技を見せ、自分だったらどのような声をかけるかを考えました。

次にトレーニングでは、自分たちが考えたセリフを役割演技で演じてみることに。実際に声に出すことによって、相手の表情やしぐさを見ながら、自分の言葉を相手がどう感じたかを考えることができたようです。

最後は、全体で今日の活動を振り返り、今後はどう行動したいかを発表。「相手が落ち込んでいるときは励ましの言葉を使うとよいことを知った。」「相手の気持ちを考えたうえで声かけすると、どちらも嫌な気持ちにならなくてすむことが分かった。」などの感想や「相手が嫌な気持ちにならないように気持ちを伝えたり、提案したりしていきたい。」「勝負で負けた時でも前向きな気持ちになる声かけをしたい。」などの決意表明があり、今回学んだことを今後生かしていきたいという思いが伝わってきました。これからも、みんなが明るく前向きになれるような環境を作っていくためにも、相手の気持ちを考えられる原田っ子でいてくれることを期待しています。



## 今年も元気に頑張るぞ！～書き初め～

1月11日(土)

新年を迎え、新たな気持ちでスタートするために、書き初めを行いました。3年生から6年生は条幅に挑戦し、1・2年生はいつも以上に丁寧な文字で硬筆を書きました。

課題は、3年生「友だち」4年生「美しい空」5年生「世界の国」6年生「夢の実現」。

半紙と違い、条幅は長い紙のため、いつもより苦労したようですが、全員が集中して取り組み、納得のいく作品ができたようです。

また、1・2年生もじっくり時間をかけて作品を仕上げ、書き終えた後は満足そうな顔をしていました。

集中して文字を書いたことで、気持ちも引き締め、3学期も目標をもって、何事にも頑張ろうと決意を新たにしました。



## 思い出がいっぱい～平成28年度卒業生～

12月30日(月)

20歳の記念にタイムカプセルを開けた平成28年度卒業生。5・6年時の担任の先生を囲み、小学生時代に書いた作文や絵、8年後の自分あてに書いた手紙などを見て、当時は懐かしみました。

現在は、子供の頃の夢を叶えたり、夢に向かって頑張っていたりとさまざまですが、目標をもって前に進んでいる先輩たちの姿を頼もしく思います。

上記の写真は卒業時と同じ場所、同じ構図で撮ったそうです。昔に戻れた1日になったことでしょう。



## 2月の行事予定

6日(木)	新入児体験入学
7日(金)	がんがらちゃん
8日(土)	10歳を祝う会・家庭学習見届け週間(～14日)
10日(月)	いじめ問題を考える週間(～16日)
14日(金)	第2回児童総会
20日(木)	クラブ活動見学会(3年)
27日(木)	新旧P役員専門部長引継ぎ
28日(金)	がんがらちゃん





## ワクワク子育て講座Part2～家庭教育学級～

1月17日(金)

昨年に引き続き、生涯学習課の山端真規子先生をお招きして「子育てってどうすればいいの？～父親の役割やかかわり方～」と題し、講演会を行いました。

ワークショップでは、「子育て」にかかわる仕事内容について、各家庭でどのように役割を分担しているかを考えました。また、母親がやったほうがいいこと、父親がやったほうがいいことについても考え、その理由まで考えるワークショップも実施。さらに、共通してやるべきことについても考え、協力して子育てにかかわることの大切さを学びました。

役割分担のポイントは、「母親だから」「父親だから」という枠にとらわれず、それぞれの強みや状況に応じて柔軟に役割分担をすること。各家庭に合った子育ての方法があるのだということを考えて考えることができました。

今回のテーマである子育てにかかわる父親の育児についての話では、育児を一緒にすることで、①母親のストレスや身体的・精神的な負担が軽減する、②互いに感謝し合う関係が築け、家庭全体の雰囲気がよくなるなどの効果があることも知りました。そして、父親がかかわることで、子供の自己肯定感が向上し、社会性や情緒の安定にもプラスの影響があることが分かりました。子育ては協力して行うものであり、「育児を手伝っている」という意識は捨て、責任をもって育児にのぞみ、子供とともに成長すること、そして何よりも子育てを楽しむことが大切だということを学んだ1時間でした。



## 「志の心」を育むために～一斉道徳授業参観～

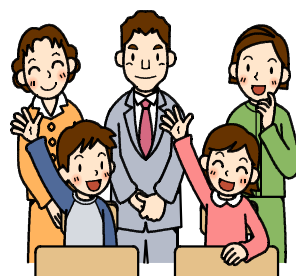
1月17日(金)

3学期が始まり約2週間。今回は、全学年、道徳の授業を行い、保護者にも道徳科の学習の様子を見てもらいました。

1年生「よいことや正しいことをするとき、大切な気持ちを考えよう。」2年生「心がまよったときに、どんな気持ちを大切にするとよいのだろう。」3・4年生「人と分かり合うためには、どんな気持ちが大切だろう。」5年生「相手の立場を大切にするには、どのような考えや思いをもつとよいのだろう。」6年生「公正・公平って何だろう。」というめあてで授業を行い、一人ひとりが道徳心を育むことができたようです。

「志の心」意識調査の結果を見ると、子供たちの道徳科への関心は高いようですが、保護者の関心は毎年低い傾向にあります。授業参観を通して、少しでも道徳科の授業に関心をもってもらい、授業の内容について、家庭でも一緒に考える機会を作ってもらえるとありがたいです。

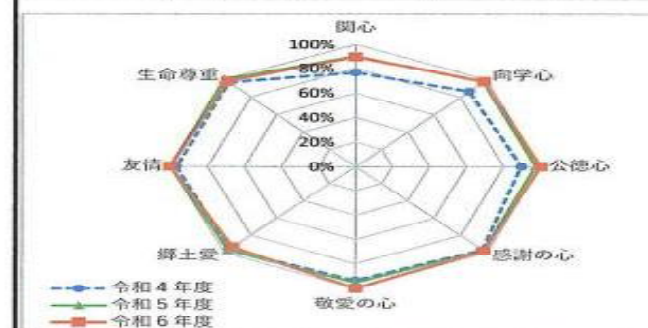
そして、道徳科の授業を通して、相手を思いやる心や、自他の命を大切にすることなどが育まれている行動が、日常生活でもたくさん見られることを楽しみにしたいと思います。



## 「志の心」の向上を目指して～令和6年度「志の心」意識調査結果より～

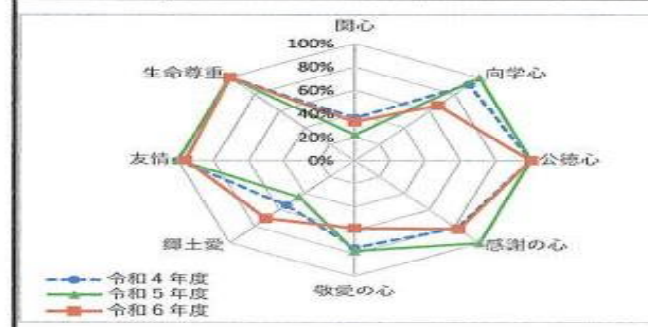
令和6年度「志の心」意識調査総括票

原田小学校児童				回答数		48		人
肯定的意見 % (小数第1位まで)								
	関心	向学心	公德心	感謝の心	敬愛の心	郷土愛	友情	生命尊重
令和4年度	76.7%	86.7%	89.7%	96.7%	93.3%	96.7%	96.7%	96.7%
令和5年度	90.0%	97.5%	97.5%	97.5%	95.0%	97.5%	100.0%	100.0%
令和6年度	89.6%	97.9%	100.0%	97.9%	100.0%	93.8%	100.0%	97.9%



- 1 道徳科の学習は好きですか。
- 2 将来の夢や目標にむけてがんばっていますか。
- 3 社会や学校のきまりを守っていますか。
- 4 これまで育ててくれた家族に感謝していますか。
- 5 地域のためにがんばった人や、地域のおじいちゃん、おばあちゃんを尊敬していますか。
- 6 自分が育った地域の行事や自然を大切にしていますか。
- 7 友達を大切にしていますか。
- 8 自分や他の人の命を大切にしていますか。

原田小学校保護者				回答数		24		人
肯定的意見 96（小数第1位まで）								
	関心	向学心	公德心	感謝の心	敬愛の心	郷土愛	友情	生命尊重
令和4年度	36.4%	91.7%	100.0%	81.8%	75.0%	54.5%	100.0%	100.0%
令和5年度	22.2%	100.0%	100.0%	100.0%	77.8%	44.4%	100.0%	100.0%
令和6年度	33.3%	66.7%	100.0%	83.3%	58.3%	70.8%	95.8%	100.0%



- 1 道徳科の学習についてお子さんと話すことがありますか。
- 2 お子さんの将来の夢や目標について話をしたり、アドバイスしたりしていますか。
- 3 社会や学校のきまりの大切さについて話し、規則を守るよう言い聞かせていますか。
- 4 これまで育ててくれた家族(祖父母等も含む)に感謝するような話をしたり、機会を設けたりしていますか。
- 5 地域社会に尽くした先人や高齢者を尊敬し、親しみの心をもつような話をしたり、機会を設けたりしていますか。
- 6 地域の文化や自然を大切にしよう話をしたり、機会を設けたりしていますか。
- 7 友達を大切にするように話をしていますか。
- 8 命の大切さについて話をしていますか。

児童の結果を見ると、「公德心」「敬愛の心」「友情」の項目は100%であり、すべての児童が社会や学校のきまりを守り、地域の方々や友達を大切にしている気持ちが分かります。また、「向学心」や「感謝の心」も昨年度を上回っており、学習に対し意欲的に取り組み、家族への感謝の気持ちが育まれてきていることも分かります。一方、「郷土愛」「生命尊重」に関しては、昨年度より低く、また市と比べても低くなっていることから、地域行事への参加を促したり、生命の大切さについては普段から考える機会を設けたりしていきたいと考えています。

保護者の結果を見ると、「公德心」「生命尊重」の項目は毎年100%であり、家庭でも子供たちにきまりを守る大切さや生命の大切さについて話をしてくださっていることが分かります。一方、「関心」の項目は毎年低い傾向のため、道徳科の学習に関心をもってもらえるよう、一斉道徳授業参観や道徳授業後のコメントの記入など実施し、保護者の方々の道徳科への関心と高めていきたいと考えております。子供たちの「志の心」の向上を目指すためにも、ご協力よろしくお願いします。